

第11回 北海道Eポート大会 参加報告

と き 平成17年7月9日(土) ~ 10日(日)

ところ 砂川市・砂川遊水池

主 催 第11回 北海道Eポート大会実行委員会

(財)石狩川振興財団 / 砂川市 / 石狩川下覧権 / NPO 法人水環境北海道

【大会の趣旨(抜粋)】

「Eポート大会」は、Eポートという新しい道具を使ってボート遊びを楽しみながら、私たちの川や流域のことを良く知りあおうとするイベントです。上下流の人々が交流することにより、ひとつの川の流域は同じひとつの生活文化圏であることを意識するきっかけになることを願っています。

【「Eポート」とは、】

人々が気軽に川に集まり、川で交流するために、新しい視点から考え出されたのが、交流のための「Eポート」です。

Eポートは、子どもから高齢者まで誰でもが簡単に操作できる、安全な10人乗りの手漕ぎボートです。流域の人々がともに汗を流しながら交流を図り、エコライフ(環境に配慮する生活)を楽しむことができます。

このほか、Eポートの“E”には Education(教育)としての意味合いや、Ecology(生態)、Environment(環境)、Eternity(永遠)のニュアンス等がこめられています。

【大会プログラム 1日目 7月9日(土)】

石狩川川下り 8:00 ~ 12:30

シンポジウム 14:00 ~ 16:30

開会挨拶 大会実行委員長 (財)石狩川振興財団 理事長 林 信 雄

基調講演 「観光立国推進戦略会議・観光コンテンツについて」

国土交通省大臣官房総務課 企画官

事例報告 「水辺の利用アラカルト」

NPO 法人 水環境北海道 理事 荒関 岩雄

対 談 「砂川遊水池よもやま話」

大会顧問 (財)石狩川振興財団 会長 中川徳男

Eポート推進委員長 NPO 法人水環境北海道 副理事長 田口哲朗

交流会

【大会プログラム 2日目 7月10日(日)】

E ボートトーナメント 9:00 ~ 14:30

1. 会場 砂川遊水池

2. 参加チーム総数 23 団体

環(わ)を考え実践する倶楽部	(株)櫻井組親睦会 プリムランナーズ (チームワーク賞)	D S 桜樹丸 (5 位入賞)	河坊主 1 号 (4 位入賞)	河坊主 1 号
「川猿」カワザル	チーム哲ちゃん	北上川サポート隊	N G S E-Boat クラブ (3 位入賞)	<u>かたつむり</u> (1 位入賞)
豪華客船わっき一号 「ファーストクラス」	豪華客船わっき一号 「シルバーシート」	チーム キタックス	黒氏丸	宗谷建設青年会 (努力賞)
F B I (パフォーマンス賞)	長沼町役場 良彦隊	赤平ラブリバー協会	滝川河川事務所号	
北の勇者北村チーム	すながわ しゃくしよ	山のない北村の輝き号 (2 位入賞)	滝川まちづくり・川づくり・人づくりチーム	

3. 競技の内容

まちづくり・川づくり協議会は(株)中山組と共同で参加し、協議会 7 名と(株)中山組 3 名の計 10 名により競技に参加した。

チーム名は「まちづくり・川づくり・人づくり(通称 川猿)」で出場したが予選落ちし、望みを敗者復活戦につないだが健闘むなしく決勝戦へ駒を進めることができませんでした。

中山組さんありがとうございました。

4. 協議会の参加者紹介(7名)

金子副会長・高木副会長・森下監事・上田事務局長・松原会員・浅井会員・岸会員

